

カメルーン★どうでしょう

2023年6月
カメルーン通信 No. 8
JICA 海外協力隊
出町 卓也

Apprendre le Japon à l'étranger .

Bonjour! カメルーンからでまちです。カメルーンの学校は6月上旬で学年度が終わり、Grand congé (グランコンジェ) という長期休暇に入ります。休暇前の数週間は6年生の授業が入試対策になりました。過去の入試問題に取り組んだり、実技テストとして、体育で短距離走をしたりしました。他学年の子どもたちは、次年度に向けた教室掃除や、机の移動を手伝いました。また、先生たちと一緒に昼食を作る日もありました。



私も6年生の英語の入試対策を担当し、試験に出そうな問題をピックアップし、解説をしながら、これで最後になってしまう6年生との授業時間を噛みしめていました。授業前には「早く授業を始めよう」、授業後に「まだ英語をやりたい」と声をかけてくれた6年生。他学年でもそうですが、子どもたちの色んな言葉に支えられ、年度末まで活動することができました。子どもたちが少しでも入試で良い結果が残せるように願っています。



◇日本のアニメは本当に大人気。

日本大使館主催の日本祭が首都ヤウンデで開催されました。日本の文化に触れてもらう機会として、折り紙体験や浴衣の試着、書道で名前を書いてもらったり、フランス語訳された日本の映画(ジブリ)を鑑賞したりするなど、盛り沢山の内容に多くのカメルーン人が集まり、楽しむ姿がありました。



中でも驚いたのはコスプレイヤーの皆さんです。日本のアニメキャラクターになりきって登場し、たくさんの撮影に応じていました。出会っただけでも、『ナルト』『デスノート』『ワンピース』『ブリーチ』『鬼滅の刃』『チェンソーマン』『呪術廻戦』…。日本のアニメがいかにか人気なのかが伝わりました。話を聞くととにかくキャラがかっこいい、イケメンという声が多かったです。さらに、アニメ主題歌を日本語で熱唱するグループもありました。しかもアカペラです。ノリノリで日本人もはっきり分かるくらいの完成度でした。まさかこんなところで、いきものがかりの『ブルーバード』をカメルーン人の合唱で聞くことになるとは思いませんでした。



◇海外に居ながら、自国を知る。

そんな中、ある日本通のカメルーン人にこんな質問を受けました。

「日本の着物はどうして全て左側が上になるように着るのか。」

剣道や柔道でも同じように、日本では全て右前で着用します。そして、逆になると亡くなった方と同じ着方になってしまうのでよくない、と聞いたことがあったので、そのように伝えました。すると、

「どうしてそういう風になったのか。」

とさらに質問を受けました。即答できませんでした。自分の中では「そうだから」としか言えなかったのです。その場で一緒に考えた結果、左前だと亡くなることをイメージしてしまい、武道においてはよくないことだから、という考えでまとまりました。後になって調べてみると、なんと奈良時代の大宝律令で定められたことが一因になっている、とのことでした。剣道をやっていた時、日々道着を着ていましたが、気に留めたこともありませんでした。新しい発見です。

私たち日本人にとっては当たり前に行うことでも、文化が違うカメルーン人が見たら「なぜだろう」と疑問に感じる場合があります。もちろんその逆もあります。文化や価値観による視点の違いは本当に興味深いです。海外にいて、滞在している国について知るだけでなく、私たちは自分の国をさらに深く知るきっかけを得ているのかもしれない。日常で当たり前になっていることに目を向けてみたら、何か新しいことに気付くかもしれませんね。それでは、A bientôt !

